

「がんばる人 in OHTOSHI」のコーナーでは、地域でイキイキと活躍している人達をご紹介します！



今回は、昭和36年(1961年)大歳の地で創業し、ずっとがんばってこられている(有)岡部園芸の2代目社長、岡部達矢さんです。岡部さんは現在、大歳商工業振興会会長と大歳青少年健全育成協議会の副会長を務められており、地域活動に積極的に関わりを持たれています。自分たちが住み、働いている大歳が「住みやすく、明るく、楽しい地域であるように」をモットーに「花いっぱい運動」や「おおとし見守り隊」、夏と秋の「おおとしまつり」などさまざまな地域活動への参加を通して地域を盛り上げるキーマンとなられています。岡部さんは、地域を盛り上げるためには多くの方の協力が不可欠であり、特に若い人の参加が必要といわれます。大歳自治振興会も同じ考えで、ぜひ多くの皆さんに地域づくりの各種事業に参画いただきたいと考えています。岡部さんにはこれからも地域をリードするキーマンとして活躍を期待しています。



岡部達矢さん

岡部達矢さんのプロフィール
昭和40生まれ
家族：3世代・6人



まつりに出店！

おおとしかわあそび Information

■ チャレンジデーの結果報告

5月25日(水)に神奈川県座間市を対戦相手として実施された今年の「チャレンジデー」は、悪天候にもかかわらず、市民の皆様の積極的なご参加とご協力のおかげで、昨年に引き続き勝利し、「2勝目」をあげることができました。

来年も、市民の皆様のご協力をお願いします。

■ 高齢ドライバー1日ドック参加者募集

今年も9月27日(火)に行ないます。参加対象は65歳以上の方です。参加申し込みは9月16日(金)までに大歳自治振興会事務局までお願いします。

■ 第7回三世代交流グラウンドゴルフ大会出場者募集!

日時 8月20日(土) 午前9時~11時30分
場所 大歳小学校グラウンド
参加対象 小学校4年生以上、どなたでも参加できます
申し込み 8月10日までに氏名、年齢、連絡先、自治会名を大歳自治振興会(☎920-1700)へ申し込んでください。

- ①当日は外で運動できる服装で、帽子、タオル、飲み物をご持参ください。
- ②道具のない方は主催者で用意いたします。
- ③ルールは簡単ですので当日説明いたします。

1人でも参加できます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

編集後記

今年の夏は、天気予報によりますと平年より暑くなりそうです。早いもので今年もすでに半ばを過ぎました。時の過ぎていく例えの中に「砂時計」があります。砂が上から下へと流れる時「くびれ」を通ります。その「くびれ」を通る一瞬が「現在であり、今」だそうです。まさに砂が流れ落ちるが如く、時は過ぎていきます。人それぞれ「持ち時間」は違いますが、時間を大切にしていきたいものです。(白上)

まちづくり おおとし かわら版 2016.7 Vol.40

防災特集

備えにまさる対策なし みんなで高めよう防災パワー

平成21年7月21日に大歳地域にも大きな被害をもたらした水害を忘れないように設けられた「おおとし防災の日」今年も、6月18日(土)、大歳地域交流センターで、山口県防災士会や大歳地区消防団の皆さんにご協力いただき、「家族で学ぶ防災教室」と題した座学と消防車からの放水やAEDなど各種防災機器の操作体験を行ないました。

防災クイズ

- 地震が起きたときに一番先にすることは？
①テレビをつける ②自分の身を守る ③携帯電話を探す
- 大雨で浸水した道を歩くときに役立つものとして正しいものはどれでしょう？
①長靴 ②杖 ③水着

正解

- ② クイズなら間違える人はまずいません。しかし、とっさに身(特に頭)を守る動作を行える人が少ないのが現実です。いつも心がけておきましょう。
- ② 雨水の量が多くなり、ひざの高さを越えると長靴の中に水が入り歩く事ができません。また、道路と水路の境が明確でなくなるので、川などに転落する場合があります。杖や傘などで安全を確認しながら歩く必要があります。



AEDを使った救命訓練

山口市の発行したハザードマップをもう一度見ましょう。旧国道9号(県道204号線)より南はすべて浸水危険地域です。つまり人口集中地域はすべて浸水に悩まされる地域といえます。これにどう対処するのが防災の第1の課題です。

そして第2に、地震対策が浮上してきたことです。熊本地震は地震と無縁な地域は存在しないことを強烈に実感させました。大歳には活断層が3本走っているといわれ、水害に比べ被害が格段に深刻になる地震に備えることは水害対策を真剣に考える機会にもなるでしょう。

「天災(自然災害)は忘れた頃にやってくる」と警鐘を鳴らしたのは寺田寅彦です。まさか平成21年の大洪水を忘れた人はいないでしょうが、あんな洪水がそう何度も起こるはずはないと内心思っている人は多いかもしれません。こうした慢心を捨てて「忘れず準備」しましょう。



消火器を使った消火訓練



消防車のホースを持ち放水する参加者



家族で学ぶ防災教室

ハザードマップや防災マニュアルをもとに、地域の状況を把握し、災害に備えた家族のルールや心構えについて学びました。

講師は防災の3条件をあげました。①事前にハザードマップで危険箇所を確認しておくこと ②雨が降り始めたら情報を確認すること ③豪雨になる前の早めの避難

どれも当たり前のようですが、実際にはなかなか難しいものです。水はくるぶし程度でも歩くのが困難になり、ひざまでであると歩けなくなります。また一面水浸しになると道路が判別できなくなり、思わぬ事故に直面します。ところであまり知られていませんが、山口県は島根県に次いで土砂災害多発県なのです。いわゆる「まさ土」の土壤が多いからです。

地震のこわさは展示された熊本地震の写真でもよくわかります。崩れ落ちたアパートのコンクリートに押しつぶされた自動車の写真は思い出すだ

けでゾッとします。またあの重いピアノがドッと浮き上がり、部屋を走るのが地震だといいます。暴走するピアノに踏みつけられたりぶつかったりしたら……。しかし、参加者の大半は家具などを固定していませんでした。非常持ち出しの準備は必須の準備ですが、これまた、あまり準備している人は多くありませんでした。

災害にあった時、一番気になるのは家族の安否です。しかし、大災害に一番弱いのが携帯電話で、安否確認がうまくできなくなります。家族会議を開いて、緊急の時の避難場所などをお互いに確認しておきましょう。それが身を守る確かな方法でもあります。

■あなたの花壇もコンクールに

毎年、大歳の道沿いを花で埋めようと『花いっぱい運動』を進めています。その一環として花壇コンクールを行い、子ども会などの花壇を表彰しています。

今年からコンクールの表彰対象を一般家庭や会社などの花壇にまで広げます。道路から見て「あの家の花壇は素晴らしい」と思ったらご連絡ください。参加をお願いにまいります。もちろん、自薦も歓迎します。

締切：8月1日(月)
大歳自治振興会まで
(☎920-1700)

昨年出品の花壇



■やまぐち車座トーク21を開催します

「やまぐち車座トーク21(移動市長室)」が、8月18日(木)18時30分から大歳地域交流センターで開催されます。

内容は、渡辺市長をお招きし、現在の大歳地域の大きな課題である「地域の安心安全」について意見交換をすることとしています。

当日は、一般の皆さんにもお席を用意していますので、興味のある方はぜひご参加ください。



昨年の様子

おぼけだぞ～ ～おやしガンバル会がんばる！～

初めての
試み

5月28日(土)、大歳地域交流センターで、大歳おやしガンバル会が「お化け屋敷」を行いました。当初申し込みが多すぎたため、今回は4年生から6年生までの200人に限定して行なわれました。当日は、懐中電灯の光を頼りに各部屋をめぐるのですが、たちまち「キャー」という悲鳴が響きわたっていました。部屋をめぐる終えた子どもたちに感想を聞くと「怖かったけど面白かった」と口々にし、楽しい一夜となったようです。

お化け～



おやしガンバル会の方たちが準備をして子どもたちを楽しませてくれました



大歳歴史の散歩道 Vol.19

幕末に長州で活躍した豪農として、林勇蔵と吉富簡一の名は必ず上がります。林勇蔵は文化10(1813)年生まれで、吉富家の分家筋の山田家から林家に婿入りしていますので、天保9(1838)年生まれの簡一にとっては叔父の様な存在でした。簡一の父親は心を病んで早く引退しましたから、庄屋の仕事のなんたるかを教えたのも、村田清風の影響を伝え、改革派の洗礼を与えたのも勇蔵でした。幕末維新期の簡一は脂ののりきった年代であり、鴻城軍を結成し、志士の活動に邁進しますが、勇蔵はすでに老年にさしかかり、後方支援活動に自らを限定しています。

明治になって勇蔵は山口県の地租改正の基準作りに大きな役割を果たしますが、なにより農業問題のプロとして榎野川改修の実現に邁進したことはよく知られています。膨大な費用の一部を内務省から出してもらったため、簡一と共に

林勇蔵と吉富簡一

明治維新をささえた豪農

上京し、その際、維新期の活躍を長州閥高官と懐かしく語り合っ、特別に支援を受けることとなりました。勇蔵の面白い所は、自分たちがそのような重要な役割を果たしたと改めて気づいたという点です。武士と一線を画した農民・庄屋という自己規定がよく現れています。こうした点が今も農民の立場で活動した郷土の偉人・林勇蔵のイメージの根底にあります。

それに対して、政治的には、はるかに重要な役割を果たした簡一は武士なのか農民なのか不分明なことが災いしたのか、政府高官になり損なった地方政治家のイメージが定着し、大歳でもあまり知られていないまま終わっているのは残念なことです。



小郡仁保津にある林勇蔵翁座像